

年次開示資料（商品先物取引業）

【2022年3月期】

本書は、2022年3月期における当社の会社概要、営業の状況及び経理の状況について記載したものであります。

LINE証券株式会社

I. 会社の概況

1. 商号、許可年月日等（2022年3月31日現在）

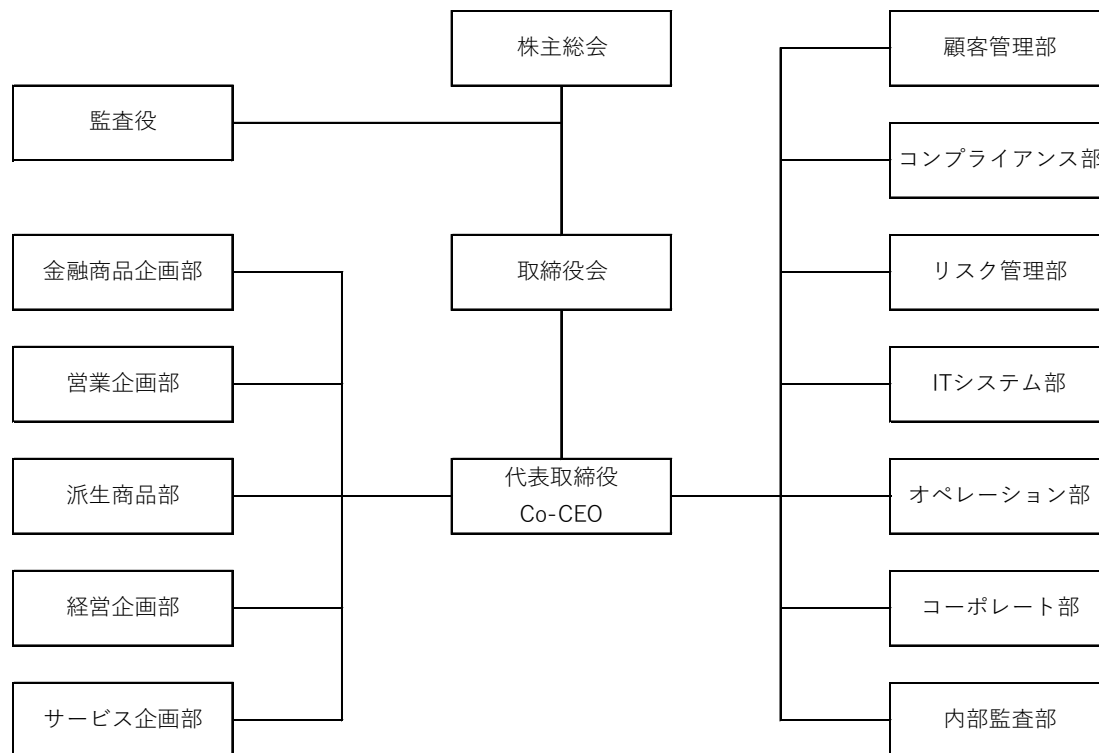
商号 LINE証券株式会社
 代表者名 代表取締役 正木 美雪
 所在地 東京都品川区西品川一丁目1番1号
 許可年月日 2022年12月23日
 加入協会名 日本商品先物取引協会

会社の沿革

年 月	沿 革
2018年6月	東京都新宿区に、LINE証券設立準備株式会社を設立。
2019年1月	東京都品川区に本店移転。
2019年6月	金融商品取引法に基づく第一種金融商品取引業登録。 LINE証券株式会社に商号変更。
2019年8月	「LINE」上で展開する投資サービス「LINE証券」のサービス提供を開始。
2019年11月	投資信託の取扱いを開始。
2020年3月	外国為替証拠金取引「LINE FX」サービスを開始。
2020年5月	国内株式取引所取引の取扱いを開始。
2020年6月	「投資信託のつみたて投資」サービスを開始。
2021年5月	個人型確定拠出年金「LINEのiDeCo」の提供を開始。
2021年6月	IPO（新規上場株）サービスを開始。
2022年1月	CFD取引サービス「LINE CFD」の提供を開始。
2022年2月	「つみたてNISA」の提供を開始
2022年3月	IR動画サービス「Quick Q&A」を提供開始

2. 事業の内容

(1) 経営組織（2022年3月31日現在）



(2) 事業の内容 (2022年3月31日現在)

①商品先物取引業

イ. 国内商品市場取引に係る業務

該当事項はありません。

ロ. 外国商品市場取引に係る業務

該当事項はありません。

ハ. 店頭商品デリバティブ取引に係る業務

当社は、下記の外国法人をカバー取引先として、店頭商品デリバティブ取引を行っております。なお、2022年3月31日現在、当社で取引できる商品は、金CFD・銀CFD・原油CFD・天然ガスCFD・ガソリンCFDです。

取次先：

インタラクティブ・ブローカーズ・LLC (Interactive Brokers LLC)

執行先：

シティバンク、エヌ・エイ (Citibank, N.A)

ユービーエス・エイ・ジー (UBS AG)

ゴールドマン・サックス・バンク・ユーエスエー (Goldman Sachs Bank USA)

JP モルガン・チェース銀行 (JPMorgan Chase Bank, NA)

スタンダードチャータード銀行 (Standard Chartered Bank)

ビー・エヌ・ピー・パリバ (BNP Paribas)

コメルツバンク・アクツィエンゲゼルシャフト (COMMERZBANK AKTIENGESELLSCHAFT)

IG 証券株式会社 (IG Securities Limited)

②兼業業務

当社は、次の業務を兼業しております。

イ. 第一種金融商品取引業

(3) 営業所の状況 (2022年3月31日現在)

名 称	所 在 地
本 店	東京都品川区西品川一丁目1番1号

(4) 財務の概要 (決算年月 2022年3月期)

(a) 資本金	100	百万円
(b) 営業収益	2,701	百万円
(c) 受取手数料	256	百万円
(d) トレーディング損益	2,231	百万円
(e) 経常利益	△10,514	百万円
(f) 当期純利益	△10,549	百万円
(g) 純資産額規制比率	511.4	%

(5) 発行済株式総数 (2022年3月31日現在)

発行済株式総数 4,900,000 株

(注) 当社の株式は非上場です。

(6) 上位10位までの株主の氏名等 (2022年3月31日現在)

氏名又は名称	保有株式数	割 合
LINE Financial株式会社	2,499,000株	51.00%
野村ホールディングス株式会社	2,401,000株	49.00%
合計 2名	4,900,000株	100.00%

(7) 役員の様況 (2022年3月31日現在)

役職名	氏名
取締役共同会長	落合紀貴
取締役共同会長	野村学
代表取締役Co-CEO	正木美雪
代表取締役Co-CEO	米永吉和
取締役執行役員	田岡成基
取締役執行役員	イウォンチョル
取締役執行役員	岩館徹
取締役執行役員	遠藤雅宏
取締役	釜野真宏
監査役	加山綾一
監査役	柳井 健寿

(8) 役員及び使用人の数 (2022年3月31日現在)

	役員		使用人	合計
		うち非常勤		
総数	11名	3名	107名	118名
うち外務員数	0名	0名	22名	22名

II. 営業の様況

1. 営業の経過及び成果 (決算年月 2022年3月期)

(1) 受取手数料部門

- ①国内商品市場取引
該当事項はありません。
- ②外国商品市場取引
該当事項はありません。
- ③店頭商品デリバティブ取引
該当事項はありません。

(2) トレーディング部門

- ①国内商品市場取引
該当事項はありません。
- ②外国商品市場取引
該当事項はありません。
- ③店頭商品デリバティブ取引
店頭商品デリバティブ取引においては、タイトな取引スプレッドを顧客に提供し、顧客利便性の追求を図ってまいりました。
その結果、当事業年度の店頭商品デリバティブ取引に係るトレーディング損益は59百万円、取扱高は以下の通りとなりました。

(単位：百万円)

商品又は商品指数	取引の種類	媒介等	自己	計
原油先物	先物	-	9	9
原油先物	CFD	-	60,537	60,537
原油先物	スポット	-	14	14
天然ガス	先物	-	2	2
天然ガス	CFD	-	7,895	7,895

ガソリン	CFD	-	3,605	3,605
銀	スポット	-	15	15
銀	CFD	-	3,183	3,183
金	スポット	-	201	201
金	CFD	-	12,110	12,110

(3) その他部門（兼業業務）

当事業年度の兼業業務に係る営業収益は、証券事業が621百万円、FX事業が1,998百万円、証券CFD事業が22百万円となりました。

2. 取引開始基準（2022年3月31日現在）

- (1) 当社に証券取引口座を保有しており、かつ証券取引口座が閉鎖中ではないこと
- (2) 証券取引口座において、原則、取引の一部または全部が停止されていないこと
- (3) 日本国内に居住する70歳以下の成人であること
- (4) 日本国内で利用可能なLINEアカウントを保有していること
- (5) 日本国内向けの携帯電話番号を保有していること
- (6) 電話で常時連絡が取れること
- (7) 日本語でコミュニケーションが取れること
- (8) 「LINE CFD取引約款」における書面の電子交付等に承諾すること
- (9) 「LINE CFD取引約款」、「LINE CFD取引の契約締結前交付書面」、「LINE CFD取引ルール」、および「LINE CFD取引に関するリスク説明書」の内容を確認し、本取引の仕組みやリスク、CFD取引ルール等について理解したうえで、自己の判断と責任により取引すること
- (10) 「LINE CFD取引に関する確認書」を電磁的方法により差し入れること
- (11) 投資方針・目的が、店頭証券CFD取引及び店頭商品CFD取引の性格に合致していること
- (12) 過去に金銭の授受等で当社との間で問題が生じていないこと
- (13) 取引代理人、成年後見人、保佐人、補助人を選定していないこと
- (14) 金融資産が10万円以上あること
- (15) 日本国籍を有しない方については、適法な在留資格をお持ちであること。
- (16) 米国籍保有者または米国居住者ではないこと
- (17) 外国PEPsでないこと

3. 顧客数（2022年3月31日現在）

店頭商品デリバティブ取引に係る顧客数 48,143 名

Ⅲ. 経理の状況

1. 貸借対照表

別紙「業務及び財産の状況に関する説明書」8頁をご参照ください。

2. 損益計算書

別紙「業務及び財産の状況に関する説明書」9頁をご参照ください。

3. 株主資本等変動計算書

別紙「業務及び財産の状況に関する説明書」10頁をご参照ください。

4. 個別注記表

別紙「業務及び財産の状況に関する説明書」11頁から15頁をご参照ください。

5. 監査に関する事項

別紙「業務及び財産の状況に関する説明書」15頁をご参照ください。